ROHDE&SCHWARZ
Make ideas real

ローデ・シュワルツとZES ZIMMER、SPS 2026で電力システムおよびオートメーション向けテストソリューションを展示

SPS 2026（ニュルンベルク）において、ローデ・シュワルツとZES ZIMMERは、産業用ドライブおよびオートメーション向けの共同テスト・計測ソリューションを紹介します。ブース4A-464では、開発、検証、運用の各段階における徹底した試験が、幅広い産業用電気アプリケーションの電力システムに対する信頼性をどのように支えるかをご覧いただけます。



キャプション：SPS 2026では、ローデ・シュワルツとZES ZIMMERによる電力システムおよびオートメーション向けテスト・計測ソリューションをご紹介します。

ローデ・シュワルツは、子会社であるZES ZIMMERと初めて共同で、ニュルンベルクで開催されるSPS 2026に出展します。2026年11月24日から26日まで、ブース4A-464において、両社のテスト・計測ソリューションを組み合わせることで、エンジニアによる産業用電気システムの開発、検証、最適化、トラブルシューティングをどのように支援できるかを紹介します。

SPS（Smart Production Solutions）は、センサーや制御技術から電気インフラ、ドライブシステムまで、スマート化およびデジタル化されたオートメーションの全領域を網羅しています。こうしたアプリケーションで信頼性の高いオートメーションを実現するには、実環境における電気システムの動作を理解することが不可欠です。生産設備で発生する断続的な障害の診断、ドライブ効率の評価、インバーターのスイッチング動作の調査など、テスト・計測はエンジニアが適切な判断を下すための根拠を提供します。SPSでは、ローデ・シュワルツとZES ZIMMERが、現場でのトラブルシューティング、精密な電力解析、詳細な信号解析を組み合わせ、開発、検証、運用の各段階をどのように支援するかを紹介します。

電力の測定と効率の評価

共同展示の主要テーマの一つが、精密な電力解析です。ローデ・シュワルツとZES ZIMMERは、LMG671パワーアナライザを使用した電動ドライブトレインの効率試験を実演します。このアナライザは、高精度かつ広いダイナミックレンジで連続的な電力測定を行えます。システム全体の出力と入力の効率を測定するだけでなく、速度とトルクを直接測定することで、モーターの機械的出力も取得できます。インバーターの出力電力は3種類の帯域幅で解析でき、基本波、狭帯域および広帯域の電力を評価できます。これにより、ユーザーは高調波などの影響を調査し、高周波損失などの値を算出できます。専用のカスタムメニューでは、関連する測定値とグラフを1つの画面に表示します。

ドライブおよびインバーターの動作を把握

産業用ドライブや電力変換器の開発に携わるエンジニア向けに、ブースでは三相電力のデバッグとドライブインバーターの試験も紹介します。MXO 5オシロスコープにR&S MXO-K333三相解析オプションを追加することで、電圧と電流の波形を表示したまま、RMS、力率、有効電力、無効電力、効率、全高調波歪みを測定し、根本原因を解析できます。これにより、開発および検証チームは、実際の負荷条件下でスイッチング障害、不平衡、高調波を調査できます。

生産設備の障害を診断

生産現場でのトラブルシューティングでは、共通のグランドを持たない電源ライン、ドライブ、制御電子機器を安全に測定する必要がある場合が多くあります。ローデ・シュワルツは、R&S Scope Rider RTHによる絶縁チャネル測定を紹介します。これにより、技術者は機械や制御盤でフローティング信号を安全に取り込めます。各入力が独立して絶縁されているため、高電圧と低電圧が混在する環境でのデバッグにも対応します。リモートアクセスとスクリプト機能により、自動化セルでガイド付きまたは無人のテストシーケンスを容易に実行できます。これにより、障害箇所の特定を迅速化し、実際の生産条件下で再現性のある検証を支援します。

通信の検証と製造テストの支援
展示のもう一つのテーマは、生産および自動テスト環境におけるシリアル通信です。I²C、SPI、UART、CANなどのバスは、製品の合否を左右する制御情報やステータス情報を伝送することがよくあります。ローデ・シュワルツは、MXOオシロスコープのシリアルバス・トリガおよびデコード機能を拡張し、Quad SPIとOcto SPIに対応しました。これにより、より高いスループットを持つこれらのSPI方式をサポートする初のテスト・計測プロバイダーとなりました。ユーザーは波形の確認だけに頼ることなく、アドレス、データパターン、ACKエラー、フレーム障害などのプロトコルイベントを分離して解析できます。この方法により、デバッグサイクルを短縮し、再現性のある製造テストを支援します。

ローデ・シュワルツとZES ZIMMERは、2026年11月24日から26日まで、ニュルンベルク・エキシビションセンターで開催されるSPSのブース4A-464において、これらをはじめとする産業用オートメーション向けテストソリューションを展示します。来場者は、ローデ・シュワルツおよびZES ZIMMERの専門家との面談を予約し、実演を体験するとともに、計測に関する課題について相談できます。詳細については、以下をご覧ください。www.rohde-schwarz.com/sps

www.rohde-schwarz.com

報道関係者お問い合わせ先：
欧州（本社）：Christian Mokry（電話：+49 89 4129 13052、Eメール：press@rohde-schwarz.com）
北米：Hannah Im（電話：+1 301 957-8357、Eメール：hannah.im@rsa.rohde-schwarz.com）
アジア太平洋地域：Cheyenne Chui（電話：+65 6307 0053、Eメール：press.apac@rohde-schwarz.com）

ローデ・シュワルツについて

ローデ・シュワルツは、電子計測、技術システム、ネットワークおよびサイバーセキュリティの各部門を通じ、より安全に“つながる”社会の実現に向けて努力を重ねています。グローバルな技術指向のグループとして、90年にわたって先端技術の開発を続け技術の限界を押し広げてきました。当社の最新製品やソリューションは、産業界や規制当局および行政機関のお客様がデジタル技術の主権を得るためのお力添えをしています。ドイツ・ミュンヘンを拠点としたプライベートな独立企業であり、長期的かつ持続的な経営を行える体制を構築しています。ローデ・シュワルツは、2025/2026会計年度（7月から6月）には36億ユーロの純収益を上げました。また、2026年6月30日現在、ローデ・シュワルツでは約16,500名の従業員が全世界で活躍しています。

R&S®は、Rohde & Schwarz GmbH & Co. KG.の登録商標です。

すべてのプレスリリースは、画像のダウンロードを含め、http://www.press.rohde-schwarz.comからインターネットでご提供しています。

■本件に関するお問い合わせ■
〒141-0033
東京都品川区西品川1-1-1　住友不動産大崎ガーデンタワー20階
ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社
マーケティング部　関野 敏正（Toshimasa Sekino）
電話番号：+81 3 5925 1270/1290
Eメール：Toshimasa.Sekino@rohde-schwarz.com
Webサイト：https://www.rohde-schwarz.com/jp/home_48230.html